

鹿児島市シルバー人材センターのベテラン会員、奥タマ子さん(89)は入会から29年間、除草作業一筋に仕事に励んでいる。丁寧な作業が評判を呼び、まもなく90歳を迎える今も、予定表には仕事の日程がびっしり。「仕事は生きがい」と意気盛んだ。

# 89歳「たまちゃん」快活

## 鹿児島市の奥タマ子さん

奥さんは40代で野菜作りを話す。

始め、土仕事の面白さを知った。60歳でセンターに入会。

愛用の鎌やくわを持参し、どんな根っこもきれいに取り去ると評判になった。

仕事仲間から「たまちゃん」の愛称で親しまれ、みな「困った時はたまちゃんに相談する」と信頼を寄せる。入会9

カ月の木下瑞代さん(63)は「師匠」と慕う。「丁寧な上に、手際が良い。大きな笑い声もみんなを明るくする」と

約30年の仕事で得た宝物は「人とのご縁」。レストランの現場を担当し、個人宅にも出向く。「仕事は生きがい」と話した。(梅下陽一)

命を救われたこともある。作業中に鼻血を出し、依頼主の勤めで病院を受診すると、脳に血瘤が見つかり手術した。「真面目に仕事をしていれば誰かが見ているし、いいことがある」と奥さん。

ためた工賃で家族と旅行に行くのが楽しめた。娘や孫たちと国内のテーマパークに出かけ、昨夏はベトナムの旅も満喫した。

都市農業センターなど五つの現場を担当し、個人宅にも出向く。「仕事は生きがい」と話した。(梅下陽一)

と話した。(梅下陽一)

と話した。(梅下陽一)

と話した。(梅下陽一)

と話した。(梅下陽一)



除草作業に励む奥タマ子さん  
＝鹿児島市の都市農業センター